

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3590200584		
法人名	社会福祉法人むべの里光栄		
事業所名	グループホームオパール光栄		
所在地	山口県宇部市大字東岐波1196-16		
自己評価作成日	令和5年7月18日	評価結果市町受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会		
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29		
訪問調査日	令和5年7月31日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居されている皆様がそれぞれのペースで生活が快適に送られるように、スタッフが寄り添うことのできる時間を出来る限り多く作り、ご自身のペースで日々を過ごしていただけるように支援しています。また、やりたい事や出来ることを続けられるように、スタッフが協力して寄り添いや見守りを行っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>利用者本位の生活を重視し、利用者のペースで生活できるように支援している。入浴は、利用者毎に時間を設定している。利用者がゆっくり入浴したいと要望すれば、順番を変えて柔軟に対応し、楽しんで入浴できるよう支援している。利用者が出来ることを職員間で話し合い、毎日の生活の中で利用者が役割を行えるよう支援している。食事の後片付け・洗濯物をたたむなど、利用者が無理なくできる作業をしている。利用者の気分が乗らない日は、無理強いせず利用者のペースを重視している。コロナ禍で地域住民との交流が少なくなっていたが、隣接する法人の事業所と一緒に「土曜日」を毎月1回、開催し、地域住民・利用者・職員が交流している。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～56で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:24. 25. 26)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:10. 11. 20)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:19. 39)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2. 21)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:5)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38. 39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている (参考項目:12. 13)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:50)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:31. 32)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:29)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]【文字サイズは10ポイントのまま変更しないでください】

自己	外部	項目 (あじさいユニット)	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を掲示し、共有しています。	法人理念「お客様こそ主人公」を原点とし「利用者主体」「地域貢献」を掲げている。理念は、職員更衣室に掲示し、管理者は、職員全体会議で説明して共有している。法人理念のもと、事業所の基本指針と行動指針を策定している。理念の具体的な実施状況は、今年度はコロナ禍の影響もあり進捗が明確でない。	法人理念の実践は、事業所基本方針を実践することであり、より具体的な目標を設定するなどの工夫が求められる。また実施状況を評価することも重要であり、取り組みに期待する。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	オパール光栄の拠点全体(デイサービス、有料老人ホーム、サ高住、居宅介護支援事業所、グループホーム)で毎月地域の方が参加できるイベントを開催しています。	事業所と隣接する法人施設と一緒に「土曜日」を毎月1回、開催し、地域住民も参加して利用者・職員と交流している。偶数月に1回、認知症カフェ「おかちゃんカフェ」を事業所と地域包括支援センターが協力して開催し、地域の方の介護相談にも応じている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ「おかちゃんカフェ」を隔月で開催しています。	/	/
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価の内容をもとにした改善に加え、定期的に私たちの日々の実践を振り返る機会としても活用できています。	今回の自己評価は、事業所職員の意見を聞き、管理者が総括している。前回の外部評価では、「事故防止に関する応急手当の研修」が改善点として提案されていた。研修を年間研修計画として設定したが、新型コロナウイルス感染症対策研修を優先し、実施出来なかった。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議参加者への報告の場として貴重な機会となっており、またご意見をいただく場としても重要な機会であるため、出来る限りご意見を取り入れて改善をしています。	コロナ禍の影響で、対面での運営推進会議は1回だけ、家族1名と市担当者が出席して開催している。それ以外は、書面による会議で、事業所の運営状況と活動状況をまとめた報告書を利用者の家族全員、市担当者、自治会長に送付し意見を求めている。	

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えな がら、協力関係を築くように取り組んでいる	特に運営推進会議の場での連絡共有を 行っています。	市担当者は、通常であれば運営推進会議に 出席し意見交換をしていたが、今年度は、コ ロナ禍の為に1回だけの出席であった。地域 包括支援センター職員とは頻りに連絡を取り 合い、講演を依頼したり認知症カフェの開催 に協力してもらっている。	
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	屋間は玄関は施錠、併設ユニットとの行き 来は可能である。身体拘束に何が当たるの かを職員全体で理解し、抑制や拘束をしな い介護に努めている。	身体拘束に関する研修は、施設内研修とし て実施し、「身体拘束の具体的な行為に関す る」チェックリストを職員と確認している。「身 体拘束廃止委員会」は定期的で開催し、セン サーマットの必要性と行動抑制に該当しない かを協議し報告書にまとめている。管理者は 言葉による行動抑制について、職員会議で 注意喚起している。	
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につ いて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内 での虐待が見過ごされることがないように注意を払 い、防止に努めている	定期的に虐待について学ぶための研修会を 開いています。また、職員間で情報共有をし ながら虐待の防止に努めています。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	管理者は社会福祉士の資格を取得し制度 の理解に努めています。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	重要事項説明書やその他チェックシートを 活用し、抜け漏れのない説明を行っています。		

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に法人内の苦情相談窓口、および、第三者苦情相談窓口を記載し、契約時に周知しています。	家族会や家族が参加する行事、アンケートは実施されてなく、家族面会時に家族の意見を聞いている。「利用者の不安定な歩行」について家族から問い合わせがあり、原因を検討した。不安定な歩行は、「足の巻き爪」によることが解明され、利用者全員の爪の状況を確認して不安定な歩行の改善につなげている。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各事業所ごとに職場代表者を選出し、職場代表者会議を毎月開催しています。	職員全体会議や日常的に職員の意見を聞いている。業務担当の変更や業務内容の変更についての職員からの意見に関しては、随時、職員と検討して改善している。	
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度があり、チェックリストと面談による評価を行っています。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を作成し、毎月テーマに沿った研修を行っています。	「初任者研修」「実務者研修」など資格取得の研修は、法人が講師を招き研修を企画し実施している。介護支援専門員の資格更新研修などは研修費を支援している。また、事業所は年間職員研修計画を立て、施設内研修を行っている。	
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他のグループホーム管理者との会議の場を毎月設けています。		

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前にも見学をしていただき、ご利用開始後も密に関わりながら、出来る限りご本人のご希望に沿った生活を続けられるようにご支援しております。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前のご説明の際に、モニタリングシートによる詳細な聞き取りを行って、ご要望等お伺いしております。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始前後は特に密に電話連絡等をさせていただき、ご利用者様のご様子・ご要望等をお伝えさせていただきご相談を重ねながらスムーズな導入を心がけています。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯などを共に行い、ご利用者様とスタッフが協力しながら生活を作り上げています。		
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様のご要望などには出来る限りお応えできるように努め、またこちらから相談がある場合はしっかりとお伝えし、繋がりを大切にしています。		

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会等を活用していただけるように、積極的に面会をお勧めしています。	利用者の行きたい場所には、家族が対応することが多く、事業者が関与することは少ない。海の近くで生活していた利用者が、昔を懐かしんで海や港の話をするので、受診の途中に海を見に行ったことがある。家族には、親しい親戚も同行して皆で会話を楽しむように推奨している。	
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様それぞれの個性に合わせて、団体で過ごす時間とプライベートな時間との兼ね合いを図りながら支援しています。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な支援がある場合はご連絡させていただきます。又、ご要望があった際には支援をさせていただきます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	モニタリングやアセスメントシートを活用し、毎月のユニット会議において、お一人ずつ詳細に検討を重ねています。	日常生活で把握した利用者の趣味などについて、家族に詳しく話を聞いている。編み物や裁縫が得意な利用者は、生活の中で活用出来るケアプランを作成して、実施している。介護拒否や不機嫌な態度の利用者については、言葉で表現出来ないことが多く、原因について職員間で協議し対応している。	
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用前のアセスメントシートを職員間で共有し、把握と理解に努めています。		

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフがご利用者様お一人おひとりの生活に常に寄り添い生活をしているため、一日のご様子を見守り・把握しています。		
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様のご意見ご要望があれば、ご家族様に相談をさせていただき、スタッフ間で話し合いをして支援につなげています。	利用者毎の担当者が、モニタリングを行っている。その後、ケアカンファレンスで他の職員の意見を聞き、ケアプランの見直しを検討している。ケアプランの見直しの際には、担当者が家族の要望を聞き、導入している。	
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日誌やバイタルチェックを記入し、共有することで日々の支援に活かしています。介護計画の見直しの際には、過去の記録を参照して作成しています。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況やニーズの変化に対し、随時職員同士で話し合い、柔軟な支援に努めています。		
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加やイベントの開催で地域とのつながりを持ち、地域資源の情報収集に努めています。		

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族が希望されるかかりつけ医と密に連絡をとりながら、提携病院では定期的な往診もおこなっています。	利用者と家族が希望するかかりつけ医を決め、事業所の協力医と今までの主治医がかかりつけ医となっている。利用者が体調不良の際は、管理者に報告し、管理者が医師に相談して対応している。	
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当事業所には看護師は配置されていないが、必要な際には訪問看護で対応しています。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の地域連携、入退院支援の担当者と連絡をとりながら、情報共有に努めています。		
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化についてはご家族に普段のご様子をお伝えしながら必要に応じた提案などを行っています。	利用開始時に、家族に対して「利用者が重度化した際の対応」について説明している。医療処置が必要な利用者是对応が困難であり、利用者が重度化した際には、家族と支援策を協議するようにしている。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故発生時の指針について法人共通の物を用意し、緊急の場合の対応方法など周知を行っています。	法人が事故対応マニュアルを作成し、各ユニットにマニュアルのファイルを設置している。事故・ヒヤリハット事例が発生した際には、随時、対応策を検討して職員に周知している。服薬に関して、利用者名と薬を職員がダブルチェックし、一人ずつ服薬介助している。AEDは設置されている。	AEDは設置されているが、AEDの使用方法や応急手当に関する研修を実施するように期待する。

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	現在は施設内職員のみで災害に対する訓練を定期的に行っています。	火災に関する訓練は、日中と夜間の訓練計画を消防署に提出し、年2回、施設で避難訓練を実施している。自然災害に関する避難マニュアルは法人が作成し、隣接施設との連絡網を整備して協力体制を整えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お声掛けの方法、言葉遣いについては敬語や丁寧語を織り交ぜながら、プライバシーに配慮したお声かけをおこなっています。	「人格の尊重」については、施設内研修を実施している。法人が「接遇マニュアル」を作成し、それに沿って施設内研修を行っている。管理者は、「利用者の目を見て話をする」、「尊厳を重視した言葉使いをするよう」指導している。	
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限りご本人の希望に沿った支援を行っています。危険であったり、他者に対して不利益になるような場合は働きかけをしています。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合にならないよう、一人ひとりのペースに合わせ支援をしている。		
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月の移動理容店のご利用や、男性は毎日の髭剃りの支援などを行い、身だしなみの支援をさせていただいています。		

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様にできる部分の家事に参加していただき、協力して準備や片付けを行っています。	法人の管理栄養士が献立を作成し、法人の厨房で調理し、事業所に配送している。ご飯・味噌汁は施設内で作り、その他の総菜は調理されて配送している。敬老会やクリスマス会では、利用者の希望を聞いた食事を用意している。月に1回程度、おやつを利用者と一緒に作っている。	
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェック表を作り、一人ひとりの状態を把握しながら、無理のない範囲で目標量の摂取をおすすめしています。		
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来ない部分は介助を行いながら、スタッフ付き添いの元、口腔ケアを1日3回行っています。		
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個人の排泄リズムに合わせたものに随時変更しながら、極カトイレでの排泄を促す支援を行っています。	利用者の排泄パターンを把握してトイレ誘導している。夜間のトイレ誘導は、転倒のリスクがある利用者1名は、夜間のみオムツを使用しているが、他の利用者は排泄パターンを参考にトイレ誘導している。	
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し、主治医と連携を取りながら下剤を減らすための工夫や、飲食物の工夫、散歩などを行っています。		

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	現在は入浴予定日や時間帯を決めて入浴支援を行っています。当日のご本人の体調や気分にあわせて柔軟に曜日の変更等を行っています。	利用者毎に入浴時間を設定しているが、入浴を拒否する際は、担当者の交代や日時の変更で対応している。利用者の要望に応じて、ゆっくりと入浴したい人は、最後に入浴するように工夫している。	
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の睡眠パターンを大切に、体調に応じて、日中も昼寝や休息が出来るように心掛けている。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人おひとりの現在服用中の処方箋を、いつでも確認できるようにファイルを準備し、情報共有を行っています。		
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味活動を継続できるように必要物品を準備するなどの支援を行っています。一般的な工作などもおこなっております。	利用者に応じた役割を担当するように支援している。利用者が得意な事や、利用者ができる作業について職員間で話し合いを行い、利用者一人ずつ役割を決めている。利用者の気分が乗らず、作業ができない時には無理強いせず、職員と一緒に掃除をすることもある。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご希望があれば感染症対策上の安全面を考慮して外出先を決めています。ご要望がない場合もスタッフが厳選した外出先にドライブ等行っています。	天候が良い時期には、職員が一人ずつ同行して、散歩している。車で20～30分の場所に、芝さくらや花見に出かけ、空港にバラを見に行くこともあり、外出を支援している。	

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	盗難リスクを考慮して基本的にはお預かりをし、必要な場合やご本人が不安な時のみ少額お渡しして残りは当施設の金庫にて管理しています。		
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話やお手紙は、ご本人の希望に合わせてご自由にさせていただきます。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースが季節感を感じる明るい印象になるように、飾り付けや工作の展示などを行っています。フロアや居室の日当たりも良好です。	共有スペースの掃除は、毎日行い、利用者と一緒に掃除することもある。利用者と一緒に折り紙で花を作り壁面飾りとした作品、七夕飾り、クリスマス飾りが壁に飾っている。エレベーター近くの共有スペースには、クリスマスツリーなどを飾り、季節感が味わえるようにしている。	
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	数か所にソファを設置し、共用部にもパーソナルスペースをご用意しています。居室もご自由に利用いただいています。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族の希望を聞きながら、居室にはご家族の写真や愛用品などを置いていただき、心地よく過ごしていただけるように工夫しています。	家族は利用者と相談して、居心地よく過ごせる物、今まで慣れ親しんだ物を持参している。利用者の趣味の編み物道具、家族の写真などをそれぞれの居室に飾っている。	

自己	外部	項目（ あじさいユニット ）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様お一人おひとりに寄り添いながら、「出来る事」を継続できるように、「わかること」は活かせる様に支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]【文字サイズは10ポイントのまま変更しないでください】

自己	外部	項目 (くちなしユニット)	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念を掲示し、共有しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	オパール光栄の拠点全体(デイサービス、有料老人ホーム、サ高住、居宅介護支援事業所、グループホーム)で毎月地域の方が参加できるイベントを開催しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ「おかちゃんカフェ」を隔月で開催しています。		
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価の内容をもとにした改善に加え、定期的に私たちの日々の実践を振り返る機会としても活用できています。		
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議参加者への報告の場として貴重な機会となっており、またご意見をいただく場としても重要な機会であるため、出来る限りご意見を取り入れて改善をしています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	特に運営推進会議の場での連絡共有を行っています。		
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	昼間は玄関は施錠、併設ユニットとの行き来は可能である。身体拘束に何が当たるのかを職員全体で理解し、抑制や拘束をしない介護に努めている。		
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待について学ぶための研修会を開いています。また、職員間で情報共有をしながら虐待の防止に努めています。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は社会福祉士の資格を取得し制度の理解に努めています。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書やその他チェックシートを活用し、抜け漏れのない説明を行っています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に法人内の苦情相談窓口、および、第三者苦情相談窓口を記載し、契約時に周知しています。		
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各事業所ごとに職場代表者を選出し、職場代表者会議を毎月開催しています。		
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度があり、チェックリストと面談による評価を行っています。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画を作成し、毎月テーマに沿った研修を行っています。		
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他のグループホーム管理者との会議の場を毎月設けています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前にも見学をしていただき、ご利用開始後も密に関わりながら、出来る限りご本人のご希望に沿った生活を続けられるようにご支援しております。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前のご説明の際に、モニタリングシートによる詳細な聞き取りを行って、ご要望等お伺いしております。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始前後は特に密に電話連絡等をさせていただき、ご利用者様のご様子・ご要望等をお伝えさせていただきご相談を重ねながらスムーズな導入を心がけています。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や洗濯などを共に行い、ご利用者様とスタッフが協力しながら生活を作り上げています。		
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様のご要望などには出来る限りお応えできるように努め、またこちらから相談がある場合はしっかりとお伝えし、繋がりを大切にしています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会等を活用していただけるように、積極的に面会をお勧めしています。		
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様それぞれの個性に合わせて、団体で過ごす時間とプライベートな時間との兼ね合いを図りながら支援しています。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な支援がある場合はご連絡させていただきます。又、ご要望があった際には支援をさせていただきます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	モニタリングやアセスメントシートを活用し、毎月のユニット会議において、お一人ずつ詳細に検討を重ねています。		
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用前のアセスメントシートを職員間で共有し、把握と理解に努めています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフがご利用者様お一人お一人の生活に常に寄り添い生活をしているため、一日のご様子を見守り・把握しています。		
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様のご意見ご要望があれば、ご家族様に相談をさせていただき、スタッフ間で話し合いをして支援につなげています。		
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日記やバイタルチェックを記入し、共有することで日々の支援に生かしています。介護計画の見直しの際には、過去の記録を参照して作成しています。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況やニーズの変化に対し、随時職員同士で話し合い、柔軟な支援に努めています。		
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加やイベントの開催で地域とのつながりを持ち、地域資源の情報収集に努めています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族が希望されるかかりつけ医と密に連絡をとりながら、提携病院では定期的な往診もおこなっています。		
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当事業所には看護師は配置されていないが、必要な際には訪問看護で対応しています。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の地域連携、入退院支援の担当者と連絡をとりながら、情報共有に努めています。		
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化についてはご家族に普段のご様子をお伝えしながら必要に応じた提案などを行っています。		
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故発生時の指針について法人共通の物を用意し、緊急の場合の対応方法など周知を行っています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	現在は施設内職員のみで災害に対する訓練を定期的に行っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お声掛けの方法、言葉遣いについては敬語や丁寧語を織り交ぜながら、プライバシーに配慮したお声掛けをおこなっています。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限りご本人の希望に沿った支援を行っています。危険であったり、他者に対して不利益になるような場合は働きかけをしています。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合にならないよう、一人ひとりのペースに合わせて支援をしている。		
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月の移動理容店のご利用や、男性は毎日の髭剃りの支援などを行い、身だしなみの支援をさせていただいています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様にできる部分の家事に参加していただき、協力して準備や片付けを行っています。		
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェック表を作り、一人一人の状態を把握しながら、無理のない範囲で目標量の摂取をおすすめしています。		
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来ない部分は介助を行いながら、スタッフ付き添いの元、口腔ケアを1日3回行っています。		
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個人の排泄リズムに合わせたものに随時変更しながら、極力トイレでの排泄を促す支援を行っています。		
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し、主治医と連携を取りながら下剤を減らすための工夫や、飲食物の工夫、散歩などを行っています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	現在は入浴予定日や時間帯を決めて入浴支援を行っています。当日のご本人の体調や気分にあわせて柔軟に曜日の変更等を行っています。		
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の睡眠パターンを大切に、体調に応じて、日中も昼寝や休息が出来るように心掛けている。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人おひとりの現在服用中の処方箋を、いつでも確認できるようにファイルを準備し、情報共有を行っています。		
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味活動を継続できるように必要物品を準備するなどの支援を行っています。一般的な工作などもおこなっております。		
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご希望があれば感染症対策上の安全面を考慮して外出先を決めています。ご要望がない場合もスタッフが厳選した外出先にドライブ等行っています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	盗難リスクを考慮して基本的にはお預かりをし、必要な場合やご本人が不安な時のみ少額お渡しして残りは当施設の金庫にて管理しています。		
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話やお手紙は、ご本人の希望に合わせてご自由にしていただけます。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースが季節感を感じる明るい印象になるように、飾り付けや工作の展示などを行っています。フロアや居室の日当たりも良好です。		
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	数か所にソファを設置し、共用部にもパーソナルスペースをご用意しています。居室もご自由に利用していただいています。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族の希望を聞きながら、居室にはご家族の写真や愛用品などを置いていただき、心地よく過ごしていただけるように工夫しています。		

自己	外部	項目（くちなしユニット）	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様お一人おひとりに寄り添いながら、「出来る事」を継続できるように、「わかること」は活かせる様に支援しています。		

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名

グループホームオパール光栄

作成日

令和5年9月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念を職員間で共有できているか、理念の具体的な実施状況の確認ができていない。	法人理念の実践に向け、事業所の基本方針を具体化し、実践する。	具体化した基本方針を元に、各職員が実践目標を立て、定期的に評価する。	1年
2	35	緊急時の対応として、AEDの使用方法や応急手当に関する研修が行えていない。	AEDの使用方法や応急手当について、色々なケースを想定し施設内研修を行う。	緊急時の対応について、外部研修に参加し対応力を強化するとともに、施設内で実技を伴う研修を実施し、職員間で情報を共有する。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。